

マーケットレポート

3月米雇用者数は事前予想を上回る

～民間平均時給は減速傾向～

◆失業率は低下

4月5日発表の米3月雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比+30.3万人と、市場予想(+21.4万人)を大きく上回りました。1月分は22.9万人から25.6万人に、2月分は27.5万人から27.0万人に、それぞれ修正されました。

3月の雇用増の内訳をみると、サービス業が+19.0万人、製造業が+4.2万人でした。政府部門も+7.1万人と増勢を維持しました。

失業率は3.8%と市場予想と同水準で、2月(3.9%)を下回りました。民間平均時給は前年同月比+4.1%と2月の同+4.3%から一段と減速しました。

◆市場の反応および見通し

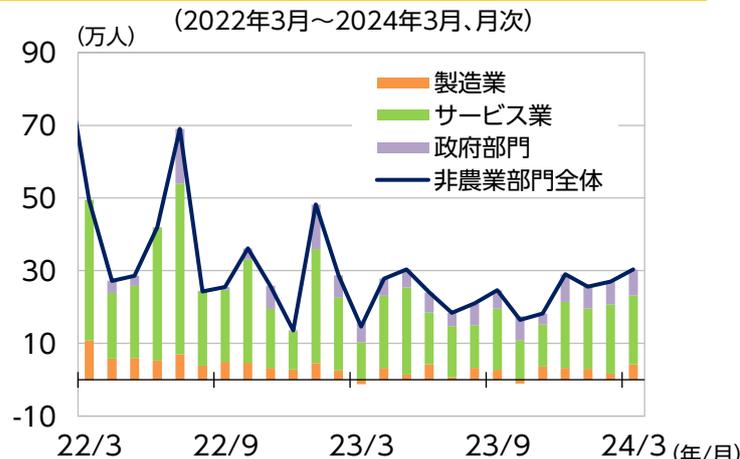
5日の米国株式市場は上昇しました。雇用統計の結果が、賃金インフレの懸念が後退するもとの、労働市場が力強さを維持していると好感されました。NYダウは前日までの4営業日で計▲1,200ドル超下げている反動もあって、前日比+307ドルの38,904ドルに反発しました。

米国10年国債利回りは、早期利下げ開始観測の後退を受けて、0.09%上昇の4.40%となりました。為替市場では、日米金利差の拡大を意識して円安・米ドル高となりました。

今後は引き続き、FRB(米連邦準備理事会)がいつ利下げに動くのかが焦点になります。3月のFOMC(米連邦公開市場委員会)で示された政策金利見通しでは、年内3回の利下げが示唆されました。パウエル議長は3月29日の講演で「利下げを急ぐ必要はない」と述べています。4月以降も一部のFRB高官から利下げ先送りを示唆する発言が続いています。

10日発表の3月CPI(消費者物価指数)の結果や、4月30日-5月1日のFOMCでのFRBのコミュニケーションが注目されます。

【図1】非農業部門雇用者増減数



【図2】失業率と民間平均時給



【図3】海外金融市場の動向

	4月5日 終値	前日比	
		変化幅	騰落率 (%)
NYダウ (米)	38,904.04	307.06	0.80
S&P500 (米)	5,204.34	57.13	1.11
ナスダック総合 (米)	16,248.52	199.44	1.24
FTSE100 (英)	7,911.16	▲64.73	▲0.81
DAX (ドイツ)	18,175.04	▲228.09	▲1.24
米国10年国債利回り	4.40%	0.09	-
米ドル/円 (円) ※	151.62	0.28	0.19
WTI原油先物	86.91	0.32	0.37

※米国市場の終値

(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。